

	授業科目の名称	授業科目の概要
文化人類学系	文化人類学	私たちはなぜ、プレゼントを貰うとお返しをしなければならないのでしょうか？このふとした疑問に向き合うことは、自分自身もまた特定の文化的な規範の中に生きているという気づきを与えてくれる。場所や時間が変われば、人々の「当たり前」の考え方は驚くほど多様に変化します。文化人類学では、贈与、宗教、医療、法、儀礼といった多様な事象を取り上げ、世界中の人々の生活様式に触れる。 しかし、それらは決して遠く離れた誰かの話ではない。自分たちとは異なる価値観や常識で生きる人々を「鏡」として、私たちの慣れ親しんだ生活や社会のあり方を別の角度から捉え直すきっかけを与えてくれます。講義を通じて、皆さん自身の常識や価値観が揺さぶられる経験を大切にしたいと考えています。目の前で起きていることや、遠く離れた場所での出来事を、これまでとは違った多角的な視点からじっくりと考えてみましょう。また、本講義では現代社会のリアルな問題にも引きつけながら、皆さんと共に議論を深めていく。
	思考と価値構想	先端技術をどうやってビジネスにし、社会を変えるかを実際の企業のケーススタディ(成功・失敗事例)を用いて議論する演習。ビジネスモデルを図解し、利益と社会的価値をどう両立させるかを議論するプロセスを通じ、技術経営(MOT)や経営戦略論の学理を実践的に学ぶ。技術の優位性を市場価値へと変換しマネジメントする力を養う。
	エスノグラフィ	グループワークを通し、人々の何気ない行動を観察・インタビューして「隠れたニーズ」を探る。現場で生々しい定性データを収集・分析するプロセスを通じ、文化人類学を応用した質的調査手法(エスノグラフィ)の学理を実践的に学ぶ。定量データでは見えないユーザーの潜在的な文脈を捉える力を養う。